

「母子の健康」の分野におけるグローバル補助金奨学金の申請について

新卒で、キャリアがない場合は、グローバル補助金での奨学金は非常に困難であり、成功の秘訣は、留学での履修科目(母子の健康に焦点を当てた学問)と将来の計画が合致し、さらに将来の展望が具体的である必要があります。

【重点分野の基本方針より抜粋】

グローバル補助金は、母子の健康の分野における仕事で活躍していくことに関心がある専門職業人のための大学院レベルの奨学金を支援します。ロータリー財団は、グローバル補助金による奨学金の申請書を審査する際、以下の点を考慮します。

1. 母子の健康の分野における申請者のそれまでの職歴・活動歴。
2. 母子の健康に沿った履修課程（例：疫学、栄養学、グローバルヘルス、公共保健、保健推進、看護学・医学の上級学位）。
3. 母子の健康と関連した、申請者の将来のキャリア計画。

【ガイドラインより抜粋】

グローバル補助金は、母子の健康の分野における仕事で活躍していくことに関心がある専門職業人のための大学院レベルの奨学金を支援します。グローバル補助金による奨学金の申請において、財団は以下の要素を考慮します：

- 母子の健康の分野における申請者のそれまでの職歴・活動歴。
- 母子の健康に沿った履修課程（例、医学、看護学、助産術）
- 申請者の将来のキャリア計画、およびそれが母子の健康にどのように関連しているか

母子の健康に関する医療従事者は、さまざまな種類の学位と幅広い経験を有しており、グローバル補助金奨学生も同じです。各奨学生は個別に審査されます。母子の健康の分野で働くことを計画している奨学生の典型的な学位には、以下が含まれます。

- 公衆衛生
- 医学
- 看護
- 助産術
- 公共保健教育
- 地域社会の保健
- 疫学
- 生物統計学
- 医療研究
- 医用生体工学
- 栄養
- 授乳関係

許容される可能性のあるその他の学位：

- プロジェクトマネジメント
- 非営利マネジメント

グローバル補助金奨学生の受領資格を財団が判断する際には、キャリア計画が重要な検討事項となります。可能な将来のキャリアには、コミュニティヘルスと病院、公衆衛生管理、保健政策立案、研究、または母子の保健サービスに焦点を当てた非政府組織での勤務などがあります。